

韓国で「BladeSymphony」の販売を開始

日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:古川 一夫、以下 日立)は、統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」を、韓国で本日から販売開始します。韓国での販売は、日立と韓国の株式会社LG(CEO:具 本戊(ク・ボンム))との合弁会社であるLG日立株式会社(代表理事:李 基東(イ・ギドン)、以下 LG 日立)を通じて行います。日立は、韓国の企業や公共機関、インターネットサービス事業者などに向け、2009年に韓国のブレードサーバ市場のシェア 15%獲得をターゲットに販売を推進していきます。

日立は、プラットフォーム事業におけるグローバル展開の一環として、昨年11月に発表した北米でのサーバ事業開始に続き、インターネット先進国でありエンタープライズシステム市場の成長が期待される韓国でも、統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」を軸としたサーバ事業を展開していきます。

「BladeSymphony」は、2004年に日本市場で販売開始された統合サービスプラットフォームで、従来メインフレームやUNIXサーバを利用していたミッションクリティカルな業務向けとして、日本国内では金融・通信市場を中心に、幅広い分野で既に100社以上の導入実績があります。

日立はLG日立とともに、販売、マーケティング、パートナーリングを含めた販売戦略の立案、高品質なサービスを提供するサポート体制の構築などを推進しています。また、LG日立に対しシステム構築時のコンサルティングノウハウの提供やシステム運用の技術的なサポートを行います。今後も日立は、LG日立と協力し、韓国市場でのサーバ事業を積極的に拡大していきます。

■「BladeSymphony」の主な特長

1. サーバ統合を可能にするマルチプラットフォーム

- ・OSは最新のMicrosoft® Windows Server™ 2003とRed Hat® Enterprise Linux®を採用(韓国向け製品)
- ・インテル® Xeon® プロセッサ搭載のサーバモジュールとインテル® Itanium® 2 プロセッサ搭載のサーバモジュールの混載可能
- ・システム管理ソフトウェアの提供により、容易で柔軟な運用管理を実現

2. 業界唯一の先進技術を採用

- ・インテル® Itanium® 2 プロセッサでのインテル® バーチャライゼーション・テクノロジーを利用し、サーバリソースを柔軟かつ効率的にする日立独自の仮想化機構を実現
- ・スケールアウトだけでなくスケールアップによるシステム性能向上にも対応可能
- ・高性能な667MHz フロント・サイド・バスに対応したインテル® Itanium® 2 プロセッサ搭載サーバモジュールの提供

■統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」ホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/bds/>

■LG日立について (URL:<http://www.lghitachi.co.kr>)

1986年に設立。(出資比率:2006年1月1日現在、日立が51%、株式会社LGが49%)

韓国内における日立製品(ストレージ、ネットワーク機器、ミドルウェア他)のシステム販売およびソリューション、サービス事業を展開。

■他社商標注記

- ・インテル、Intel、Xeon、Itaniumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
- ・Microsoft、Windows Server は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp.の登録商標です。
- ・Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat Inc.の登録商標または商標です。
- ・Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■取扱事業部・照会先

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ
エンタープライズサーバ事業部 企画部【担当:喜多村】
〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下1番地
電話:0463-87-6786 (ダイヤルイン)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
